

第9回 亀山市総合計画審議会 議事録

開催日時	平成28年12月7日(水) 17:00~17:45
開催場所	亀山市役所 3階大会議室
議事項目	1. 会長あいさつ 2. 第2次総合計画の答申 (1)答申案に関する協議 (2)答申
議 事	<p>1. 会長あいさつ 【会長よりあいさつ】</p> <p>2. 第2次総合計画の答申 (1)答申案に関する協議 【事務局より資料説明】</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料1と2については、私と事務局とで調整し、修正した箇所の報告でありご確認願いたい。資料3の答申案について確認したい。諮問案についての適否と、答申案に付ける3つの付帯意見について、審議したいと思う。 諮問案の修正状況については、審議会の意見に対し、すべてではないがかなりの部分で検討し、修正対応していただいたということから、当審議会からの答申としては諮問案について適当であるということから答申したいと思うがいかがか。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> 異議なし <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。続いて、付帯意見の確認だが、諮問案を適当としたので、計画推進についての意見とした。1点目は今回の総合計画策定における最大の課題としてきた人口減少問題と定住促進についてである。2点目は適切な行政評価による効果的な計画推進について、成果指標にとらわれすぎないようにということである。3点目は総合計画全体を推進していくに当たっての環境を整えるための行財政改革についてである。変更や追加があればご意見をいただきたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> これで賛成である。行政改革推進委員会より出ているということからチェックさせていただくと、2点目で行政評価を行うこと、成果指標にとらわれず実質的な評価をすることというポイントを押さえていただいている。3点目で、中期的な財政見通しが亀山市は厳しいと聞いているが、それを踏まえて積極的な行財政改革を総合計画と合わせて推進することが入っているので、私の立場からは賛成である。 中身はこれでよいが、気になるのは3のところの空白と、1、2の空白が違うので、それも合わせていただくとよい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3の数字とのスペースが空いているので、合わせてもらおうとよい。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 修正していただく。修正の時間を利用して、昨年から参加していただいた委員の皆さんから感想などをいただければと思う。

(委員)

- 初めは大変な役をいただいたと思ったが、こういった場に参加し、他の委員の方がすごく亀山のことを考えていただいていると感じた。私もこういった立場で会長をさせていただいているが、連絡会議の会長として、亀山に役立てることを考えるきっかけとなった。

(委員)

- 経済しか目が行かないので申し訳ないと思う。亀山市では、平成 30 年には新名神も開通し、おそらくリニアの駅もルートも亀山に決まってくるだろうと思う。夢のあるまちであり、これから会議所もがんばってまいりたい。

(委員)

- 会長から答申していただくに当たって総括している訳だが、私自身は前回と今回とを比較する唯一のツールを持っているので、本日ここに 8 ページになる総括を整理してきた。ご一読いただければと思う。市民のため、まちのために恩返しすべく、いくばくかのお役に立てたかと思う。

(委員)

- 亀山で生まれ、亀山で育ち、亀山で仕事をして、この歳に至っている。好きなまちではあるが、改めて亀山というまちを自分で掘り起こし、考えられた。愛着を持って、今後過ごしたいと思うし、このように皆さんに考えられて行政が回っているということも勉強させていただいた。今回、考えられたことが、少しでも市民に浸透していけばと思う。

(委員)

- 大詰めの審議で欠席して申し訳なかったが、議事録を拝見して思ったのは、細かなところまで内容を見て、素晴らしい答申ができるという気持ちが伝わってきた。今日ここで区切りが付くが、最後のお願いとしては、計画を具現化して、計画通り進めていただきたい。

(委員)

- できあがったものを拝見すると、レベルの高いものになった。ひとえに、会長のとりまとめと、委員の審議の賜物であり、良い計画ができたと思う。他の市町と比べても良いものができたし、審議会の雰囲気も厳しい面を持ちながらも、亀山を愛するというか、良いまちづくりがしたいという熱意にあふれた意見が出され、それを事務局がうまくまとめ、会長にとりまとめていただいた。これから推進段階に入っていくが、行革委員会も今ちょうどやっているところで、そういう面からも実質的に、限られた財源の中で進める必要がある。よろしく願いしたい。

(委員)

- 教育という立場で出ているが、いろいろな問題が山積しており、今まで考えられなかった環境に子どもたちが置かれているということがある。今後は、地域の方々と一体となって、教育や子どもの問題に取り組まなければならない。今後ご協力をお願いしたい。

(委員)

- 市役所の職員の仕事は、思っていたよりも大変だと感じた。亀山のことが大好きであり、亀山生まれ、亀山育ちであり、亀山は良いところだと思っている。これからもよろしく願いしたい。

(委員)

- まだ大学生の身だが、亀山のことは大好きであり、亀山に住む同じ歳の人が結構、就職で他のところに行ってしまいが、できるだけ亀山に残ってもらえるように発信していきたい。

(委員)

- まちづくりや地域づくりには学生時代から関心があり、書物では読んでいたが、実際に自分が当事者として総合計画にかかわるのは初めてで、すごく良い経験をさせてもらった。どちらかという行政に対して批判的な目で見えていたが、ひとつの総合計画を作るのに、どれだけ企画の方たちが苦勞されているかが分かった。審議会というものが、行政のお墨付きではないかという考え方があるほうだが、かなり突っ込んだ議論がされ、確かに取り入れてほしいと思った考えが必ずしも取り入れられた訳ではないが、市の方向性に沿った形で考慮されている部分が入ったり、どのような意見も会長がうまくまとめて、答申の中に生かしていくという策定過程を見て、とても民主的な運営で進められたと思っている。ただ、前回の総合計画を一市民の立場で読むと、本当に難しいし、分からないし、魅力を感じる事がなかった。今回は策定に責任を持っているので、そうは言えない。読み込んだり、議論の中で修正され、付け加えられた部分や、「健都かめやま」という部分は、私も初めは分からなかったが、議論されてきたものを総合的に打ち出す中身としてはよい。積極的に打ち出しても恥ずかしくない中身だと思う。行政の立場の難しさ、とりわけ今のような財政状況の厳しい中で、様々な事業を要望に応えてやるのは難しい。コミュニティバスの問題でもあったが、新しいルートを作るともう一方を減らさないといけない。総枠が決まっている中で、試行錯誤を重ねる難しさがある。何とか新しい時代に適応した亀山にしていくために苦勞されているのも分かったし、この計画を策定するのに一市民としてかかわった立場として、市民の側からこの総合計画をどうみんなのものにして、具体的な政策を市、様々な業界の方と一緒に進めていけるかというのが次のテーマだと思っている。

(委員)

- 立派な意見を頂戴してここに至ったが、私も亀山に生まれ、亀山で育って、このように幅広く亀山のことを考えたのは初めてであった。皆さんの意見で計画が成り立っていくが、本当に隅から隅までの計画を立てていただき感謝している。この計画をもとにますます亀山が発展するよう希望したい。

(委員)

- こういった委員会にはたくさん出ているが、総合計画はグレードが高く、事務局が非常によく文章をまとめていただいたと思う。立派な答申案ができたが、絵に描いた餅に終わらないようお願いしたい。

(副会長)

- 亀山市という行政主体が大事なのではなく、そこに住んでいる人たちの生活や営みが一番大事にされるような答申でなければならないと感じている。書いてあること自体は当たり前なことだが、行政がやることだけだったのが、話し合いの中から、行政と市民が一緒になるようなことが大事だということが出てきた。市民でも亀山を好きになり、愛したりしながらやっていくことや、お隣をもっと大事にすることが大切ではないか、ということが言葉の端々に表れてきて、政策や施策としてやることだけではない、そこに命を吹き込む作業を審議会の中でできたという思いがある。人間的に大事にしなければならないこと、お互いの助け合いが大事だということを話の中で出していたいただいた。それを受けて、行政に文章として表していただけた。できたから終わりではなく、これが始まりなので、自助、共助も含めて、亀山市全体が良くなるようにがんばっていただきたいと思うし、私たちもそれに沿ってがんばりたいと思う。

(会長)

- 私自身は都市計画を専門としているので、都市マスタープランの策定の仕事はよくやるが、総合計画で教育や福祉も含めて総合的に検討する機会は実はあまりない。総合的に検討することで、専門分野である都市計画への見方が少し変わってきたようにも思う。委員の皆さんには、積極的な意見を出していただき感謝している。皆さんの積極的な意見がなければ、論点を整理して事務局にお願いすることもできなかったのも、皆さんのおかげである。事務局には、非常に丁寧な仕事をしていただいた。これだけ注文を付ける審議会もあまりないと思う。それを一つひとつ丁寧に対応していただいた。総合計画なので、庁内の各部署との調整が大変だったと思うが、それをやっていただき、レベルの高い総合計画になったと思う。東京にも何度も来ていただき、やや厳しい注文をしたが、まとめていただいて感謝している。
- お手元に配布した答申を再確認していただきたい。再度、修正があれば対応させていただく。よろしければ、この内容で市長に答申させていただく。

(委員一同)

- 異議なし

(2)答申

【会長から市長に答申】

【市長よりお礼のあいさつ】

(事務局)

- これをもって総合計画審議会を閉じさせていただく。今後とも、市政に対するご支援、ご協力をお願いしたい。ありがとうございました。